



2021湖っ子食育大賞

大賞は、甲賀市立信楽小学校に決定！

滋賀県教育委員会では、児童生徒が正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校を中心に家庭・地域とも連携した食育を推進しています。

平成19年度に学校や園の特色を生かした優秀な食育の取組を表彰する「湖っ子食育大賞」が創設され、令和3年度は15年目となり、県内の学校から8校の応募がありました。審査の結果、大賞は甲賀市立信楽小学校に決定しました。

～受賞校の概要～

大賞 甲賀市立信楽小学校

「仲間と楽しく学ぼう!」をテーマに取り組まれています。食べ物に関するアンケートにより実態の把握を行い、毎月の「食育の日」のテーマを活かし、実践を踏まえた食育が行われています。さらに学習後にワークシートで振り返って学んだことが大切に行えるような仕組みが整っています。また、給食委員会の児童を中心に自主的に食について発信されています。PTA厚生部の「元気になる朝食レシピ」は家庭と連携した活動が行われていました。食に関する指導を学校全体で継続的に行う取組として定着が図られ、その実践は大変素晴らしく、生活習慣の改善が成果として表れています。



栄養教諭による授業の様子



PTA厚生部「元気になる朝食レシピ」の掲示

優秀賞 守山市立物部小学校

「食に関心を持ち、よりよい食生活を実践できる力の育成を目指して」をテーマに取り組まれています。年間指導計画をもとに栄養教諭と学級担任等々が食に関する指導の授業を積極的に行っており、食育が定着しています。授業後には家庭への食育通信が配布され、家庭との連携も図られています。また委員会活動では、エンジョイランチ委員会を中心に牛乳パックのゴミかさ競争や給食が楽しくなる歌づくりなど独自の取組が行われています。さらに食育掲示板を活用して給食や食べ物への興味や関心が高まるよう工夫されています。

優秀賞 彦根市立佐和山小学校

「しっかり食べよう」をテーマに、朝食摂取や食品ロス問題を中心に取り組まれています。食育だよりの配布やアンケートの実施、家庭科の授業、卒業生と給食委員会と一緒に活動するユニークな取組など様々なチャンスをつかんで食に関する指導が行われています。食の学習にはDVDを見た後、ワークシートに記入する等の自らの学びを振り返り、学んだことが大切にできるような仕組みが整っています。取組の実施後は、評価を行い、その評価状況に合わせた改善に取り組んでおられます。

優秀賞 野洲市立野洲小学校

「食べることが好きな子を育てたい!さまざまな角度からの食育を試行錯誤する。」をテーマに取り組まれています。6年生の国語科での企画書作成の取組は、児童が主体的に取り組む探究的な学習活動となっていました。給食だよりに児童考案メニューや保護者からの質問への返答を加えて発行されるなど家庭の食育への関心を高める取組が展開されています。栄養教諭による食に関する指導は、教科等での授業の実施ほか、授業の資料提供、ビデオレター、ICTを活用した給食時間の食育教材の作成と各クラスへの提供など多くの工夫がされています。

優秀賞 滋賀県立甲良養護学校

「手洗いでコロナ予防」をテーマに取り組まれています。児童生徒の実態に合わせて手洗いの啓発ポスターの作成や手洗いの歌を用いた動画の作成とこれらを活用した授業を実施されました。ICTなどの新しい技術を取り入れて、子どもたちが興味を持ち分かりやすく楽しく取り組めるよう工夫されました。全教職員で取組まれ、課題の共有、また、ホームページでの動画配信によって情報発信も積極的に行われています。

食育大賞および優秀賞を受賞されました5校には、記念品としてお祝いの「焼き海苔」をイメージして作られた信楽焼の盾を贈呈しました。

〈 湖っ子食育大賞 支援・協力 〉

公益財団法人 滋賀県学校給食会(副賞・表彰記念品制作)

県立信楽高等学校(表彰記念品制作)

